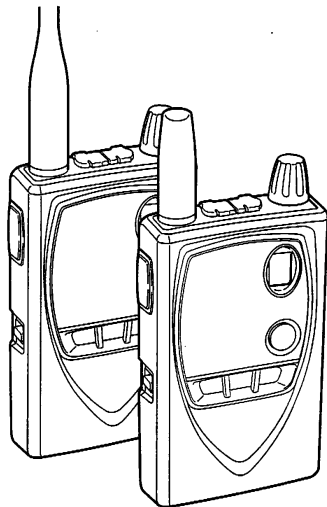


特定小電力ハンディトランシーバー  
(総務省技術基準適合品)

## DJ-P9/DJ-P11

### 取扱説明書

アルインコのトランシーバーをお買い上げいただきましてありがとうございます。本機の機能を十分に発揮させ、効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読み下さい。また、この取扱説明書は大切に保管して下さい。ご使用中の不明な点や不具合が生じた時、お役に立ちます。



ALINCO アルインコ株式会社

## 安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前にお読みください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損失を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示	表示の意味
	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号	表示の意味
	△記号は、注意(危険・警告含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容が描かれています。
	○記号は、行為の禁止であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合はACアダプターをコンセントから抜く)が描かれています。

本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因にて通信等の機会を失ったために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

### 安全上のご注意

#### 警告

##### ■使用環境・条件

- 交通安全上、運転しながら交信するのはおやめください。
- 電子機器(特に医療機器)の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。
- 内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺、病院内では絶対に使用しないでください(電源も入れないでください)。
- 運行の安全や無線局の運用や放送の受信に支障をきたしたり、医療機器が故障・誤動作する原因となります。
- この製品どうし、または他の無線機とともに至近距離で複数台使用しないでください。
- お互いの影響により故障・誤動作・不具合の原因となります。
- この製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込み使用した場合、いかなる誤動作・不具合が生じても製造元および販売元はその責任を負うものではありません。
- この製品を使用できるのは、日本国内のみです。外国では使用できません。
- この製品を人命救助等の目的で使用して、万一、故障・誤動作等が原因で人命が失われることがあっても、製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

##### ■トランシーバー本体の取扱いについて

- イヤホンを使用する場合、あらかじめ音量を下げてください。聴力障害の原因になることがあります。
- このトランシーバーは調整済みです。分解・改造して使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 布や布団で覆ったりしないでください。熱がこもり、ケースが変形したり、火災の原因となります。直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。
- 水をかけたり、水が入ったりしないよう、またぬらさないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。
- 水などでぬれやすい場所(風呂場など)では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

##### ■チャージャーの取扱いについて

- AC100V以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- チャージャーのACプラグのコードをタコ足配線しないでください。加熱・発火の原因となります。

### 安全上のご注意

- めれた手でチャージャーのACアダプターに触れたり、抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- チャージャーのACアダプターを、ACコンセントに確実に差し込んでください。ACアダプターの刃に金属などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。
- チャージャーのACアダプターの刃に、ほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや加熱により火災・感電・故障の原因となります。
- 安定化電源の使用について**
- AC100V以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 安定化電源の電源プラグと他の製品の電源プラグをタコ足配線しないでください。
- めれた手で安定化電源の電源プラグに触れたり、抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 安定化電源の電源プラグをACコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。
- DCケーブルを加工したり、ヒューズホルダーを取り除いて使用することは、絶対にしないでください。火災・感電・故障の原因となります。

##### ■シガーライターケーブルの使用について

- DC12V車専用ですので、大型車などのDC24Vには直接接続しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- めれた手でシガーライターケーブルに触れないでください。感電の原因となります。

##### ■異常時の処置について

- 以下の場合には、すぐ本体の電源をOFFにして、電池を取り外してください。また、チャージャーをご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。異常な状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店、または当社サービス窓口にご連絡ください。お客様による修理は、危険ですから、絶対にお止めください。
- 異常な音が出たり、煙が出たり、変な臭いがするとき
- 落したり、ケースを破損したりしたとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- ACアダプターのコードが腐んだとき(芯線の露出や断線など)
- 雷が鳴り出したら、安全のため本体の電源をOFFしてください。チャージャーをご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。

##### ■保守・点検

- 本体やチャージャーのケースは、開けないでください。けが・感電・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターに依頼してください。

**注意**

■使用環境・条件

- ☐ テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。
- ☐ 湿度の高い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- ☐ くらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- ☐ 直射日光があたる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。
- ☐ 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

■トランシーバー本体の取扱いについて

- ☐ アンテナを誤って目にささないようにしてください。
- ☐ イヤホン/マイク端子にはオプションのイヤホン/マイク/セキュリティケーブル以外を接続しないでください。故障の原因となることがあります。
- ☐ 旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本体の電源をOFFにし、電池をとりはずしてください。チャージャーをご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。
- ☐ 本機を持ち運ぶときは、充電端子をショートさせないように注意してください。大電流が流れ、やけどや火災の原因となることがあります。

■チャージャーの取扱いについて

- ☐ チャージャーのACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。必ずACアダプターを持って抜いてください。
- ☐ チャージャーのACアダプターを熱器具に近づけないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

■保守・点検

- ☐ お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源をOFFにして、電池をとりはずしてください。チャージャーをご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。
- ☐ 水滴が付いたら、乾いた布でふきとってください。汚れたひどいときは、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジンは使用しないでください。

■外部電源使用時の注意

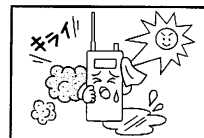
- ☐ 本機に接続する外部電源は、必ず出力電圧が4.5V～6.0Vの範囲内にある直流電源をご使用ください。
- ☐ 車のシガーソケットから電源を取る場合には、シガーDC/DCコンバーター (EDH-18) をご使用ください。
- ☐ 外部電源ケーブルの抜き差しは、必ず本体の電源をOFFしてからおこなってください。

**目次**

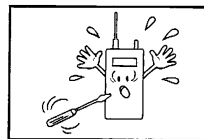
安全上のご注意	5	便利な機能	32
目次	5	機能一覧	33
使用前のご注意	6	キーロック	34
機能と特長	7	緊急通報機能	34
付属品と取り付け方	8	リセット (初期化)	35
まず使ってみましょう		セットモード	
電池の入れ方	10	セットモードの設定と設定一覧	36
もっとも基本的な使い方	11	トーン出力機能	37
基本的な性能		コードスケルチ機能	38
電池について	12	充電機能 (CHG)	39
各部の名前とはたらき	13	バッテリーセーブ (bS)	40
ディスプレイのチャンネル表示	16	エンドピー (EndP)	41
音響の調整	17	ビーブ (bEEP)	42
電源ON時/送受信中の表示	18	スケルチレベル設定 (SqL)	43
特定小電力の交信制限について	19	バッテリー表示 (bAtt)	44
フェイスシートの交換	20	ケア送信延長機能 (CArE LonG)	45
3つの通信モード		PTTオフ機能 (PttoFF)	46
各モードの概要	22	蚊除け機能 (MoSqUito)	47
モードの切り替え方法	24	チャンネルタイプ選択機能	48
トランシーバーモードの通信方法	25	付録	
セキュリティモードの通信方法	27	ディスプレイ表示	49
ケアモニターモードの通信方法	30	各チャンネルの送受信周波数	50
		セットモードメニュー	51
		トーン周波数/オプション一覧	52
		故障とお考えになる前に	53
		定 格	54

**使用前のご注意**

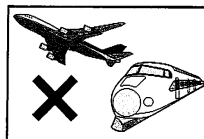
●ご使用環境  
高温、多湿、直射日光の当たるところ、ほこりの多い場所は避けてお使いください。



●分解しないで  
改造、変更は禁止されています。分解したり内部を開けることは絶対しないでください。



●ご使用禁止場所  
本機は総務省技術基準適合品ですが、使用場所によっては思わぬ電波障害を引き起こすことがあります。次のような場所では使用しないでください。航空機内、空港敷地内、新幹線車両内など。また日本国内でのみ使用してください。



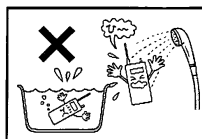
●交信距離  
交信のできる距離は周囲の状況によって大きく異なります。※ショートタイプアンテナでは、約3割ほど短くなります。

大体の目安	
海上	: 3km
ゲレンデ	: 2km
(見通しの良い所)	
郊外	: 1~2km
市街地	: 100~200m

●障害物  
本機に採用されている電波は直進性が高いため、間にビルや橋脚、又は山や丘陵等の障害物があると交信できる距離が短くなります。



●水につけないで  
防水設計ではありませんので、図のようなご使用は避けてください。なお、水、雪等が付いた時はすぐにふき取ってください。



## 機能と特長

- DJ-P9 レジャータイプ9チャンネルを搭載  
設定により、ビジネスタイプ11チャンネルも使用  
できます。
- DJ-P11 ビジネスタイプ11チャンネルを搭載  
設定により、レジャータイプ9チャンネルも使用で  
きます。
- 業界初！DIY (Design It Yourself)  
コンセプト  
自分でデザインしたフェイスシートで、オリ  
ジナルトランシーバーに変身します。
- 単三乾電池 2本仕様のシンプル&コンパクト  
ボディ  
名刺サイズ (90mm×55mm) に匹敵する  
コンパクトサイズです。
- 用途に応じた2タイプのアンテナ  
DJ-P9 携帯性を重視したショートアンテナ。  
DJ-P11 電波の飛びを重視したロングアンテナ。  
※アンテナは取り外せません。
- 9種類のトーン出力機能  
※トーンスケルチ [グループトーク] 機能で  
はありません。
- 新開発のコードスケルチ機能
- セキュリティ機能  
簡易警報機として活用できます。
- 緊急通報機能
- ケアモニター機能  
乳幼児や病人の監視に活用できます。
- 送信禁止機能  
受令専用機として使用できます。
- 蚊除け音発生機能
- 本体にトリクル充電回路内蔵  
外部電源端子付きです。

7

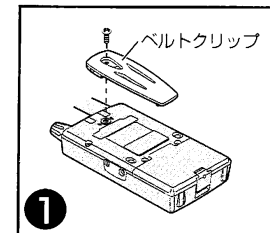
## 付属品と取り付け方

### 付属品

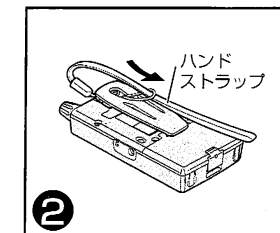
開封しましたら、付属品をご  
確認ください。

- ベルトクリップ
- ハンドストラップ
- ストラップチェーン
- セキュリティケーブル
- フェイスシート型紙
- 取扱説明書
- 保証書

### ベルトクリップの取り付け



1  
ベルトクリップを付属のネジ  
で本機に取り付けます。

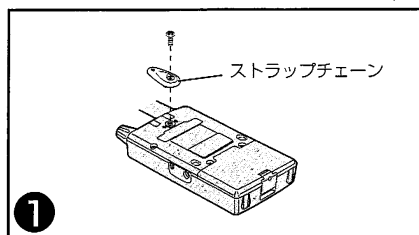


2  
ハンドストラップを、ベルト  
クリップと本機の溝の間に取  
り付けます。

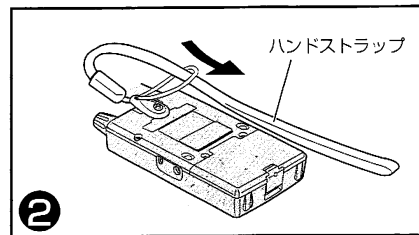
8

### 付属品と取り付け方

### ストラップチェーンの取り付け



1  
ストラップチェーンを付属のネジで本機に取り  
付けます。

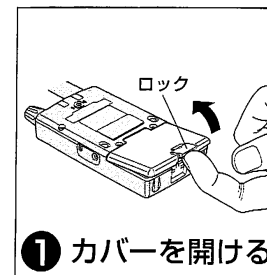


2  
ストラップチェーンの穴にハンドストラップを取  
り付けます。

9

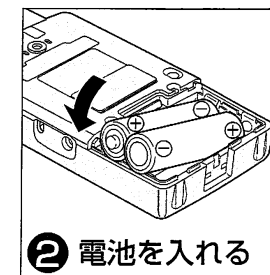
### まず使ってみましょう 電池の入れ方

本機を初めてお使いになる前に、電池を入れてください。



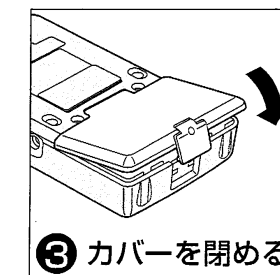
1 カバーを開ける

- ①ロックを外します。
- ②カバーを開けます。



2 電池を入れる

ケース内の+・-の印と合わ  
せて、新しい単三型乾電池を  
2本入れます。



3 カバーを閉める

- ①ツメを合わせます。
  - ②カバーを閉めます。
  - ③ロックをかけます。
- きちんと閉まったことを  
確認してください。

注意  
+・-の向きが違わ  
ないように注意してくだ  
さい。

10

## まず使ってみましょう もっとも基本的な使い方

本機の最も基本的な使い方を説明します。

### 5 音量を調整する

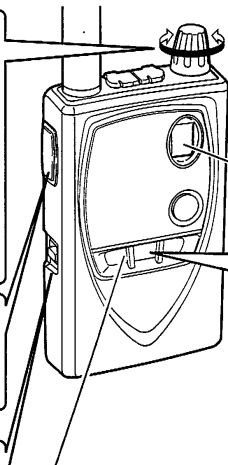
ダイヤルを1回押すと、(音量値)が表示されます。「V」→「0」→「L」→「音量値」が表示されます。ダイヤルを回してお好みの音量に調整します。PTTキーを押すと表示が消えます。

### 3 送信する

PTTキーを押しながら、マイクに向かって話します。

### 1 電源を入れる

電源スイッチを上方向にスライドさせます。



### 2 チャンネルを合わせる

ダイヤルを回して、相手機と同じチャンネルに合わせます。

チャンネル・音量が表示されます。

### 4 受信する

受信すると、スピーカから相手の声が聞こえます。

**注意** ディスプレイは、電池の消耗を抑えるために普段は消灯しています。電源の切り忘れにご注意ください。

マイク/スピーカ

まず使ってみましょう

11

## 基本的な性能

## 電池について

本機で使用する電池の使用時間、および残量表示について説明します。

### 使用時間のめやす

[送信1：受信1：待ち受け8]の時間の割合で動作を繰り返した場合のめやすです。

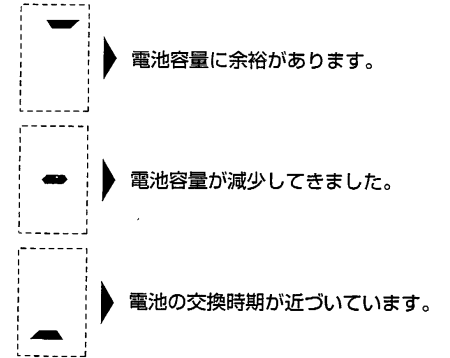
マンガン乾電池	約35時間
アルカリ乾電池	約70時間
ニッケル水素充電電池 2000mAhタイプ	約50時間

**注意**

- 使用環境、周囲温度によって若干変化します。
- 電池は同じ種類の新しいものをご使用ください。
- 大容量のアルカリ乾電池のご使用をお奨めします。

### 電池容量表示

電池の残容量は10秒に1度ディスプレイに3段階で表示されます。セットモードの設定で電池容量表示をOFFにすることもできます。(P44)



12

## 基本的な性能

## 各部の名前とはたらき

本機の各部の名前とはたらきを説明します。

### アンテナ

**注意** アンテナは外れない構造になっています。無理にアンテナを回したり引き抜いたりしないでください。

### PTTキー

押すと送信します。離すと受信に戻ります。各種設定を確定する際にも使います。

### 電源スイッチ

上方向にスライドさせると電源が入ります。

### マイク/スピーカ

マイクは口元と約5cm離してお話してください。

### ディスプレイ

チャンネルや音量など各種設定内容が表示されます。(P15)

### [F]キー(ファンクションキー)/[ロック]キー

セットモードの開始に使用します。また、約1秒間押し続けると、キーロックができます。再度押し続けると、キーロックが解除されます。(P33)

### 注意

ディスプレイは、電池の消耗を抑えるために普段は消灯しています。電源の切り忘れにご注意ください。

基本的な性能

13

## 各部の名前とはたらき

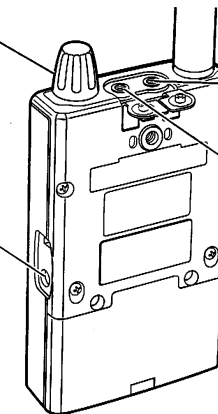
### ダイヤル [音量/セットモード]キー

ダイヤルを回してチャンネルの変更など各種設定を行います。ダイヤルを押すと音量調整、F点灯状態で押すとセットモードの項目を選択できます。

### DC-IN

外部電源接続端子です。オプションのシガーライターケーブル(EDH-18)を接続すると、車中で使用できます。ニッケル水素充電電池、ニッカド充電電池を装着しトリクル充電できます。(P39)

**注意** 外部電源のプラグの抜き差しは、本機の電源をOFFにしてから行ってください。



### イヤホン端子(φ3.5)

イヤホンや外部スピーカを接続する端子です。

### マイク端子(φ2.5)

外部マイクを接続する端子です。

14

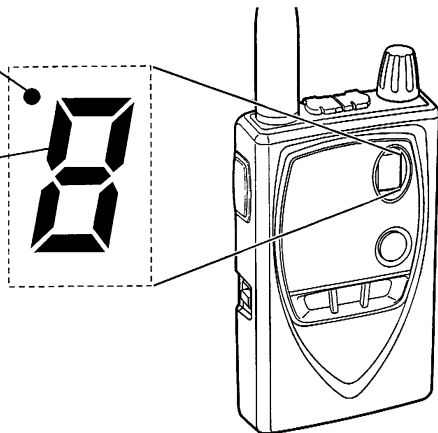
ディスプレイ

ポインタ

送信中に点灯します。電波受信中にも点灯します。数字表示と同時に点灯し、各種状態を表します。

数字表示器

チャンネルや音量、各種設定状態を数字やアルファベットにより表します。また、電池の残量を10秒に1度、3本のバーでお知らせします。(P12)



基本的な性能

基本的な性能

ディスプレイのチャンネル表示

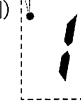
チャンネルを変更するには、ダイヤルを回します。ダイヤルを回した後、5秒間チャンネル番号を表示します。(電池使用時)  
従来の特定小電力トランシーバーと周波数の互換性はありますが、本機特有のチャンネル番号表示となりますので、以下の表を参考にお使いください。

	チャンネル番号 従来機でのチャンネル表示	チャンネル番号 本機でのチャンネル表示
DJ-P9 レジャータイプ 9チャンネル ※	1 } 9	1 } 9
DJ-P11 ビジネスタイプ 11チャンネル ※	1 } 9 10 11	ポインタ+1 } ポインタ+9 (ポインタ点灯) ポインタ+0 ポインタ+11

※チャンネルタイプ選択機能 (P48) を使うと、全チャンネル使用可能

点灯

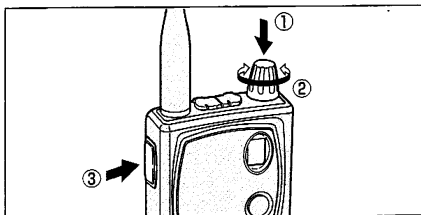
(例) ディスプレイの「ポインタ」と「1」が同時に点灯すると、ビジネス1チャンネルを意味します。



基本的な性能

音量の調整

本機の音量調整方法を説明します。



①ダイヤルを押します。  
→「V」→「0」→「L」→「音量値」が表示されます。

初期状態は音量値「15」です。

②ダイヤルを回して音量値を調整します。  
→表示中にダイヤルを回すと、音量が増減できます。音量値は30段階(0~29)で増減できます。

③希望の音量値を選択したら、PTTキーを押します。  
→通常の受信待ち受け状態に戻ります。

音量表示

段階	0~9	10~19	20~29
表示	0~9	ポインタ+0 } ポインタ+9 (ポインタ点灯)	ポインタ+0 } ポインタ+9 (ポインタ点滅)

●表示例



基本的な性能

基本的な性能

電源ON時/送受信中の表示

本機には3つの通信モードがあります。(P22) 電源ON時および送受信中の、ディスプレイの表示について説明します。

電源ON時

電源ON時、「モード状態を1秒間点灯」→「チャンネル番号を1秒間点灯」→「消灯」します。工場出荷状態はトランシーバーモードです。

トランシーバーモード	トランシーバーモードの表示	消灯
セキュリティモード	セキュリティモードの表示	消灯
ケアモニターモード	ケアモニターモードの表示	消灯

送受信中

送信中はポインタが点灯します。受信中もポインタが点灯します。電池使用時は、送信から受信に戻った際にチャンネル番号を2秒間表示します。外部電源使用時、受信待ち受け中はチャンネル番号を表示します。

ポインタ  
送信中：点灯  
受信中：点灯



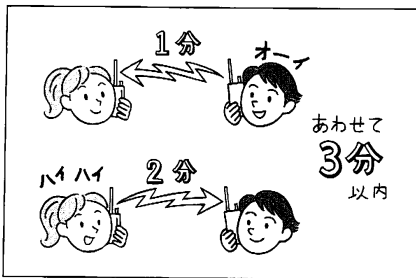
注意 本機は電池の消費を抑えるため音階はディスプレイを消灯しています。シガーライターケーブル(EDH-18)などの外部電源を使用している場合は、チャンネル番号を常時点灯します。

## 基本的な性能

# 特定小電力の交信制限について

特定小電力トランシーバーの交信に関する制限事項を説明します。

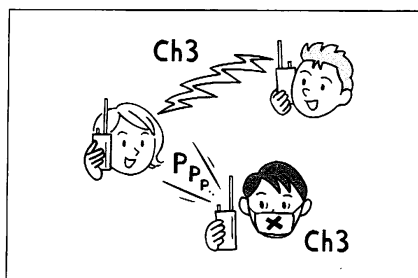
### 3分制限 (3分以上は連続で送信できません)



送信、受信合わせて3分以内です。  
10秒前に警告音が鳴り、3分になると自動的に送信は停止します。

**注意** 3分の交信時間制限により、自動的に送信が止まった後は、2秒たたないと次の送信はできません。

### キャリアセンス (受信中は送信できません)



一定の強さの電波を受信している時はPTTキーを押しても送信できません。  
受信中にPTTキーを押すとアラーム音が鳴り送信できないことを知らせます。

**注意** ビープ音をOFFに設定している場合、キャリアセンスが働き送信できない時でもアラーム音は鳴りません。(P42)

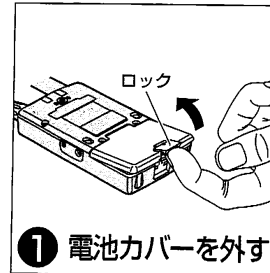
基本的な性能

19

## 基本的な性能

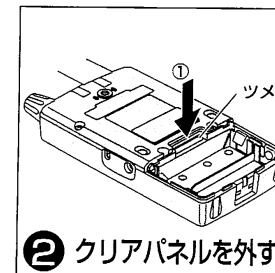
# フェイスシートの交換

お客様がデザインしたオリジナルシートと交換する方法を説明します。



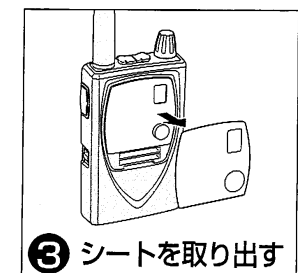
### ① 電池カバーを外す

- ①ロックを外します。
- ②カバーを開けます。



### ② クリアパネルを外す

- ①クリアパネルのツメを押し込みます。  
→クリアパネルが浮き上がります。
- ②浮き上がったクリアパネルを本体から取り外します。



### ③ シートを取り出す

クリアパネルの下に挟まっているシートを取り出します。

20

## フェイスシートの交換



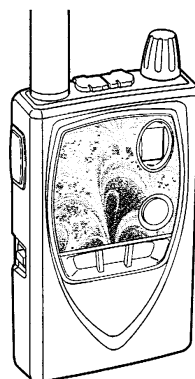
お客様がご用意した新しいシートを取り付けます。

**注意** 付属の型紙を使用し、オリジナルシートを作成してください。



- ①上部にツメを押し込みます。
- ②下部のツメを内側に寄せながら、矢印の方向へ差し込みます。

写真やイラストを使うと、より個性的なトランシーバーに変身させることができます。



基本的な性能

21

## 3つの通信モード

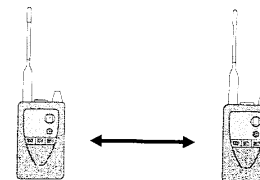
# 各モードの概要

本機には3つの通信モードがあります。ここでは3つの通信モードの概要を説明します。

### トランシーバーモード (モード P25)

使用チャンネル  
レジャー : 1~9CH  
ビジネス : 1~11CH

もっとも基本的な単信通話モードです。工場出荷状態で電源を入れると、このモードになります。送信時にPTTキーを押して通話します。通話可能エリア内であれば、同じチャンネルの人は全員交信できます。



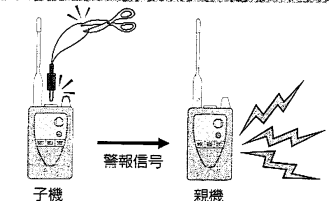
**注意** 周波数構成が同じである他の特定小電力トランシーバーとも交信できます。

### セキュリティモード (Sモード P27)

使用チャンネル  
レジャー : 1~9CH  
ビジネス : 1~11CH

本機を簡易的な警報装置として利用するモードです。付属のセキュリティケーブルが引き抜かれたり、切断されると、それを親機に知らせます。

**注意** あくまでも簡易的な警報機能とお考えください。本機の誤動作、不具合により万一、損害が幸ひしても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

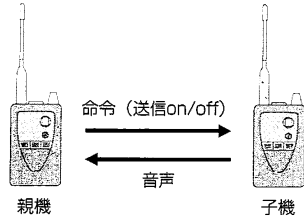


22

**ケアモニターモード (Cモード) P30**

使用チャンネル  
レジャー : 1~9CH  
ビジネス : 1~11CH

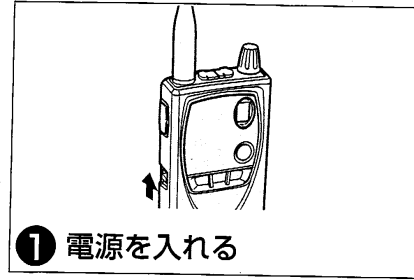
本機2台を使って、親機から子機の送信をコントロールできます。乳幼児や病人の監視などに活用できます。



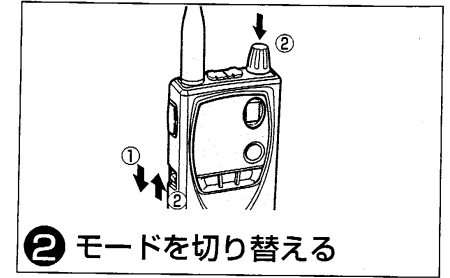
無線通信機器

**3つの通信モード モードの切り替え方法**

工場出荷状態で電源を入れると、もっとも基本的なトランシーバーモード (tモード) となります。



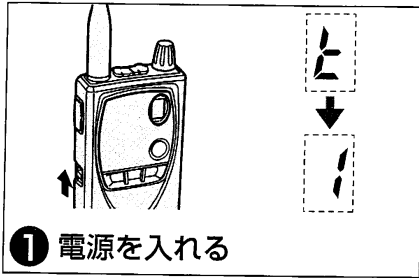
電源スイッチを入れます。  
→トランシーバーモード (t) で電源が入ります。



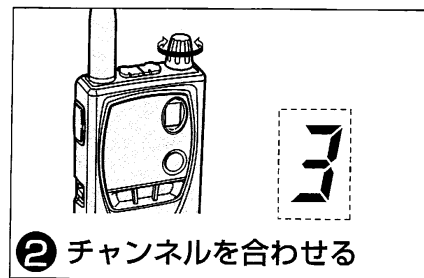
①電源をOFFにします。  
②ダイヤルを押しながら、電源スイッチをONにする操作を繰り返します。  
→セキュリティモード (S) →ケアモニターモード (C) →トランシーバーモード (t) →セキュリティモード (S) ...の順に繰り返して、モードが切り替わります。

**3つの通信モード トランシーバーモードの通信方法**

もっとも基本的な単信通話モードです。



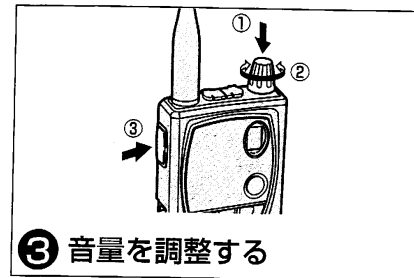
電源スイッチを上方向へスライドさせます。  
→モード表示 [t] →チャンネル表示 [1] と表示した後、消灯します。(電池使用時)



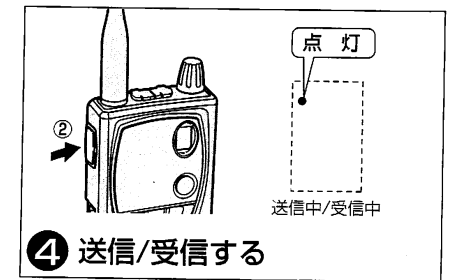
ダイヤルを回してチャンネルを合わせます。

無線通信機器

トランシーバーモードの通信方法



①ダイヤルを1回押します。  
②ダイヤルを回して音量値を調整します。  
③希望の音量値になったところで、PTTキーを押します。  
→音量値の表示が消えます。



①信号を受信すると、スピーカから相手の声が聞こえます。  
→ディスプレイのポインタが点灯します。  
②送信時は、信号を受信していないことを確認してから、PTTキーを押したまま、話します。

マイクに向けて話すときは、マイクと口元を約5cm離してください。

→ディスプレイのポインタが点灯します。  
③PTTキーを離すと、「ピッ」と音が鳴った後、受信待ち受け状態に切り替わります。

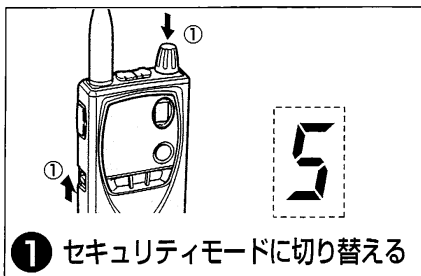
### 3つの通信モード

## セキュリティモードの通信方法

本機を2台使って、簡易的な警報装置として利用するモードです。



あくまでも簡易的な警報機能とお考えください。本機の誤動作、不具合により万が一、損害が生じても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。



### ① セキュリティモードに切り替える

- ①ダイヤルを押しながら、電源スイッチをONにします。
- ②電源ON後に、ディスプレイに「S」と表示されるまで、①の操作を繰り返します。  
→「S」と表示されたら、セキュリティモードに切り替わります。

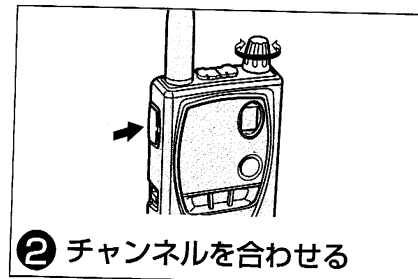


セキュリティモードに切り替えて電源をOFFにすると、次に電源をONにしたときも、セキュリティモードで立ち上がります。

3つの通信モード

27

### セキュリティモードの通信方法

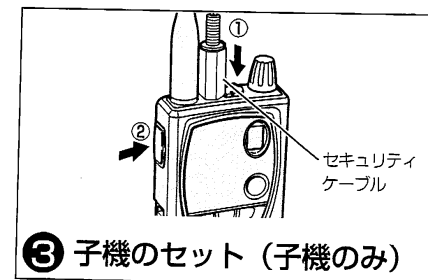


### ② チャンネルを合わせる

親機と子機のチャンネルを合わせます。



コードスケルチ機能をONに設定することもできます (P38)。その場合コード番号 (A~F) も同じに合わせます。

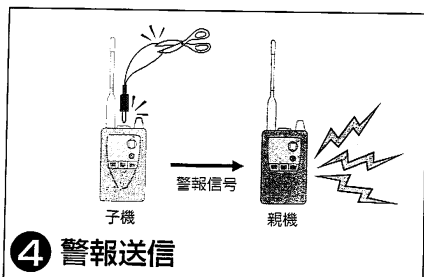


### ③ 子機のセット (子機のみ)

- ①子機 (警報送信機) のイヤホン端子にセキュリティケーブルを差し込みます。
- ②PTTキーを押します。  
→ディスプレイに「S」→「C」→「r」→「t」が表示され、警報送信機としてセットされます。

28

### セキュリティモードの通信方法



### ④ 警報送信

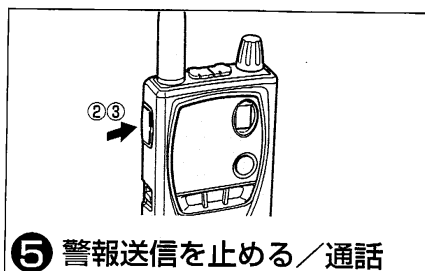
セキュリティケーブルを抜いたり、切断したりすると、警報送信が始まります。  
→親機は子機からの電波を受け、アラーム音が鳴ります。子機に異常があったことを知らせます。



ケーブルが引き抜かれた場合、子機自体もアラーム音が鳴りますが、ケーブルが切断された場合、子機からはアラーム音が鳴りません。



親機、子機ともに音量を0にしているとアラーム音は聞こえません。



### ⑤ 警報送信を止める / 通話

- ①警報送信を始めた子機は「5秒間アラーム音送信」→「5秒間音声送信」→「5秒受信」の間欠動作を繰り返します。
- ②子機の「5秒受信」中に、親機のPTTキーを押します。  
→親機からの電波を受信して、子機の警報送信が止まります。子機の警報送信が止まった後、親機と子機の間で通話できます。
- ③通話するには、PTTキーを押して通話します。

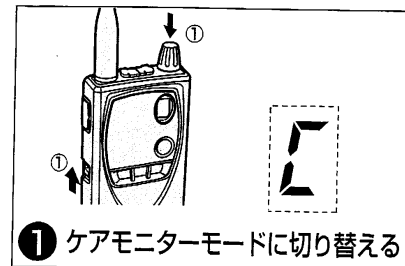
3つの通信モード

29

### 3つの通信モード

## ケアモニターモードの通信方法

本機2台を使って、親機から子機の送信をコントロールできます。乳幼児や病人の監視などに活用できます。

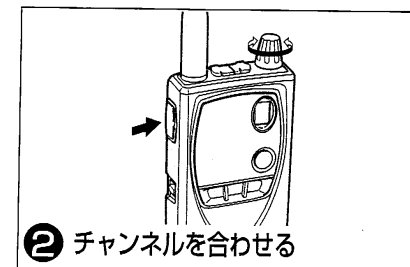


### ① ケアモニターモードに切り替える

- ①ダイヤルを押しながら、電源スイッチをONにします。
- ②電源ON後に、ディスプレイに「C」と表示されるまで、①の操作を繰り返します。  
→「C」と表示されたら、ケアモニターモードに切り替わります。



ケアモニターモードに切り替えて電源をOFFにすると、次に電源をONにしたときも、ケアモニターモードで立ち上がります。



### ② チャンネルを合わせる

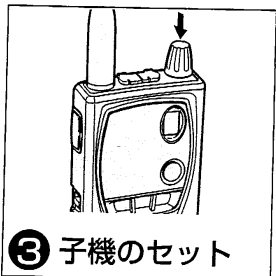
親機と子機のチャンネルを合わせます。



コードスケルチ機能をONに設定することもできます (P38)。その場合コード番号 (A~F) も同じに合わせます。

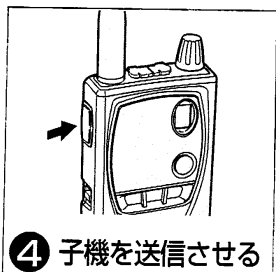
30





### ③ 子機のセット

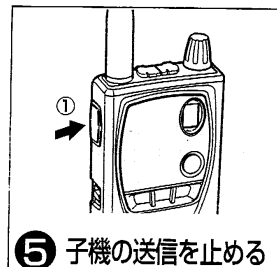
ダイヤルを2秒以上押します。  
→ディスプレイに [C] [A] [r] [E] と表示され、子機としてセットされます。この状態で親機からの送信命令を待ちます。



### ④ 子機を送信させる

親機のPTTキーを押します。  
→「ビビ」音が鳴り、子機は「25秒送信」→「5秒受信」の間欠動作を繰り返します。

子機の送信時間を50秒に延長できます。(P45)



### ⑤ 子機を送信を止める

①子機の「5秒受信」中に親機のPTTキーを押します。  
→「ププ」音が鳴り、子機は送信が止まります。  
②もう一度親機からの送信命令を受けると、また送信を始めます。

注意 子機の電源を入れ直した時は、再度「③子機のセット」を行ってください。

30  
トランシーバーの通信方法

## 便利な機能

## 機能一覧

各モードで使用できる機能等を紹介します。

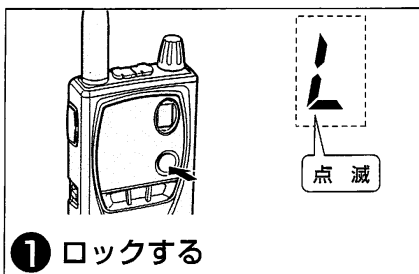
	トランシーバーモード	セキュリティモード	ケアモニターモード
トーン出力機能 (P37) (*1)	○	×	○
コードスケルチ機能 (P38) (*1)	○	○	○
10秒待ち機能 (P38)	○	○	○
緊急通報機能 (P34)	○	×	×
初期化 (P35)	○	○	○

\*1: トーン出力機能とコードスケルチ機能は同時に使用できません。  
また、これらの機能はセットモードで設定します。(P37~38)

## 便利な機能

## キーロック

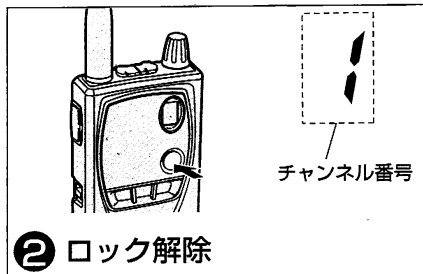
キーロックを設定しておく、誤作動などによる設定変更を防止できます。



### ① ロックする

Fキーを1秒以上押し続けます。  
→「ビビビビ」音が鳴り、「L」が点滅します。

・キーロック中でも送信、音量調整は操作可能です。  
・キーロック中に電源を入れ直すとロック状態で電源が入ります。「モード」→「L」→「チャンネル番号」と表示されます。



### ② ロック解除

解除するには、再度Fキーを1秒以上押し続けます。  
→「ビビ」音が鳴り、チャンネル番号を表示します。

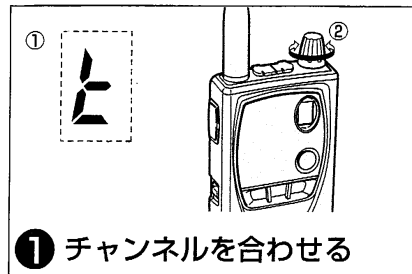
注意 キーロック中にダイヤルを回すと「L」が点滅して、キーロック中であることを知らせます。Fキーを押すと「プッ」音(無効音)が鳴り、キーロック中であることを知らせます。キーロックを解除してから各操作を行ってください。

便利な機能

## 便利な機能

## 緊急通報機能

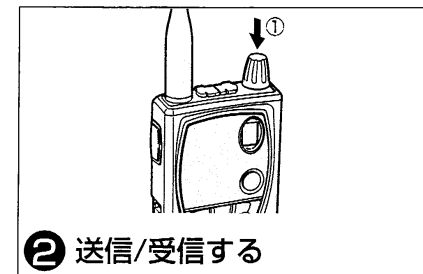
本機を簡易的な緊急通報装置として使う機能です。普段はトランシーバーとして使用し、万が一の際には相手機にアラーム音で知らせます。



### ① チャンネルを合わせる

①本機2台をトランシーバーモードにします。  
②本機2台のチャンネルを合わせます。

通常は、音声通話用のトランシーバーとして使います。



### ② 送信/受信する

①ダイヤルを3秒以上押します。  
→緊急通報が10秒間送信します。

セットモードで「ケア送信延長機能」をONにすると、20秒間送信します。(P45)

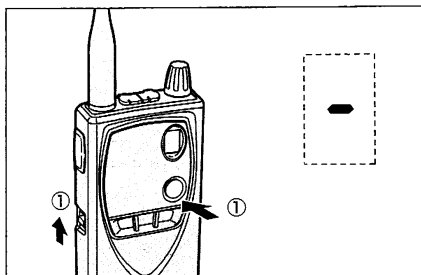
②相手機は緊急信号を受信し、アラーム音が鳴ります。

注意 音量を0にしていると、アラーム音は鳴りません。

## 便利な機能

### リセット (初期化)

リセットすると工場出荷状態に戻り、初期状態のトランシーバーモードになります。



- ① Fキーを押しながら電源を入れます。
- ② 「-」の表示中にFキーを離します。

便利な機能

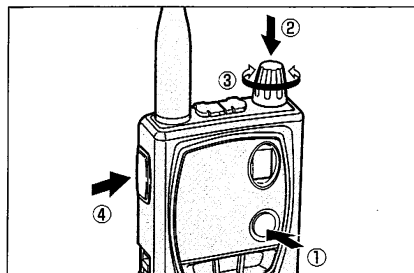
35

## セットモード

### セットモードの設定と設定一覧

セットモードは、各種機能をより使いやすくするために、本製品をカスタマイズする機能です。次の項目が設定できます。

#### 設定方法



- ① Fキーを押します。
- ② 「F」点灯中にダイヤルを押します。  
→ セットモードの項目が切り替わります。
- ③ ダイヤルを回して、ON/OFFを切り替えます。
- ④ PTTキーを押して、設定を確定します。

#### 設定一覧

設定名	初期設定
トーン出力機能 (P37 ※1)	OFF
コードスケルチ機能 (P38 ※1)	OFF
充電機能 (P39)	OFF
バッテリーセーブ (P40)	ON
エンドビー (P41 ※2)	ON
ビーブ (P42)	ON
スケルチレベル設定 (P43)	3
バッテリー表示 (P44)	ON
ケア送信延長機能 (P45 ※3)	OFF
PTTオフ機能 (P46)	OFF
蚊除け機能 (P47)	OFF
チャンネルタイプ選択機能 (P48)	※4

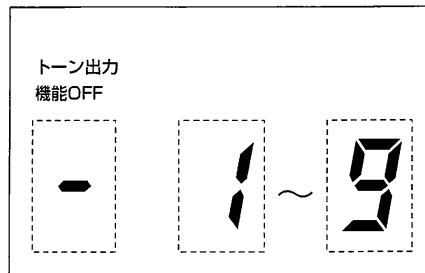
- ※1: トーン出力機能とコールドスケルチ機能は、同時に使用不可  
 ※2: セキュリティモード、ケアモニターモードでは使用不可  
 ※3: ケアモニターモードでのみ使用可能  
 ※4: DJ-P9はレジャータイプ9チャンネル、DJ-P11はビジネスタイプ11チャンネル

36

## セットモード

### トーン出力機能

交信する相手機 (本機以外) にトーンスケルチ機能 (グループトーク機能) がある場合に使用します。



**注意** 本機能はトーン信号を出力するだけで、トーンスケルチ機能 (グループトーク機能) ではありません。

**メモ** 初期状態では、OFFに設定されています。

- ① Fキー押し、「F」の点灯中にダイヤルを1回押します。  
→ 「-」が点灯します。
- ② ダイヤルを回して、トーン番号を選択します。  
→ トーン番号は、1~9の間で選択できます。
- ③ PTTキーを押します。  
→ トーン番号が確定します。電池使用時は、表示が消えます。

**メモ** 外部電源使用時は、チャンネル表示に戻ります。

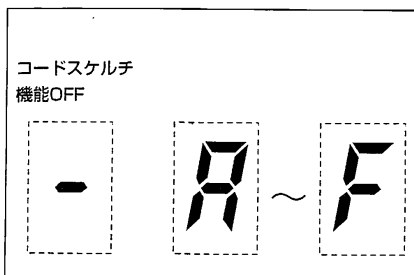
- ④ 再びPTTキーを押して、送信します。  
→ 音声とともに、トーン (P52) が送出されます。

37

## セットモード

### コードスケルチ機能

コードスケルチ機能を使うと、同じコード番号に設定した人とだけ交信でき、混信を防ぐことができます。



**注意** 本機能は原理上、受信電波が弱い状況では正常に動作しないことがあります。

**メモ** 初期状態では、OFFに設定されています。

- ① Fキー押し、「F」の点灯中にダイヤルを2回押します。  
→ 「-」が点灯します。
- ② ダイヤルを回して、コード番号を選択します。  
→ コード番号は、A~Fの間で選択できます。
- ③ PTTキーを押します。  
→ コード番号が確定します。電池使用時は、表示が消えます。

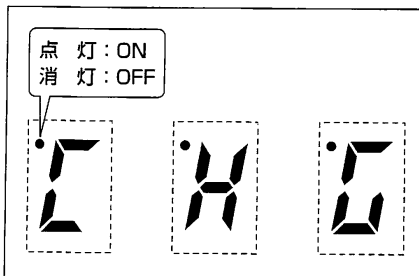
**メモ** 外部電源使用時は、チャンネル表示に戻ります。

- ④ 再びPTTキーを押して、送信します。「ビビ」と音が鳴ってから、話します。  
→ PTTキーを押した直後、約1秒間はコード信号が送出されます。

38

## セットモード 充電機能 (CHG)

ニッケル水素充電電池またはニッカド充電電池を装着し、外部電源端子よりトリクル充電できます。



充電時間のめやす	
1000mAhタイプ	: 約20時間
2000mAhタイプ	: 約40時間

**注意** 本体の電源がON状態でのみ充電できます。充電中も運用できます。単三乾電池装着時は絶対に充電しないでください。液漏れなどの原因となります。

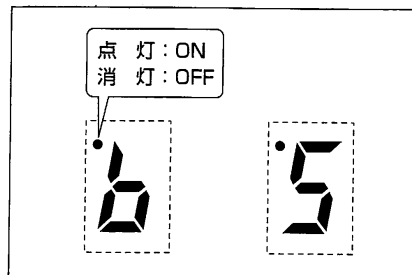
**メモ** 初期状態では、OFFに設定されています。

- ①Fキーを押し、「F」の点灯中にダイヤルを3回押します。  
→「C」→「H」→「G」と表示されます。
- ②ダイヤルを回して、ON/OFFを切り替えます。  
→ポインタが点灯するとONとなり、充電できます。
- ③PTTキーを押して、設定を確認します。  
→充電を続ける場合、本体の電源はONのままにしてください。

メモ

## セットモード バッテリーセーブ (bS)

待ち受け状態が5秒以上続くと、内部電源を定期的にON/OFFさせて、電池の消費を抑える機能です。

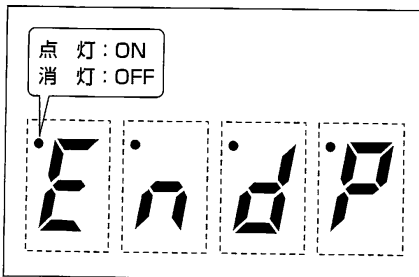


**メモ** 初期状態ではONに設定されています。

- ①Fキーを押し、「F」の点灯中にダイヤルを4回押します。  
→「b」→「S」と表示されます。
- ②ダイヤルを回して、ON/OFFを切り替えます。  
→ポインタが点灯するとONとなり、バッテリーがセーブできます。
- ③PTTキーを押します。  
→設定が確認します。

## セットモード エンドピー (EndP)

PTTキーを離れた時の「ピッ」音のON/OFFを設定します。



**メモ** 初期状態ではONに設定されています。

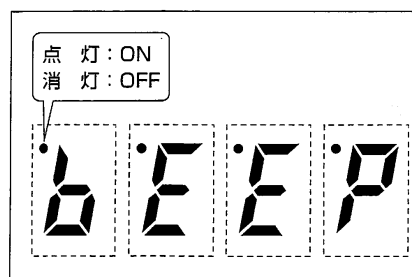
**注意** セキュリティモード、クアモニターモードでは使用できません。

- ①Fキーを押し、「F」の点灯中にダイヤルを5回押します。  
→「E」→「n」→「d」→「P」と表示されます。
- ②ダイヤルを回して、ON/OFFを切り替えます。  
→ポインタが点灯すると、エンドピー機能がONとなります。
- ③PTTキーを押します。  
→設定が確認します。

メモ

## セットモード ビープ (bEEP)

本機から鳴るビープ音（操作音）のON/OFFを設定します。



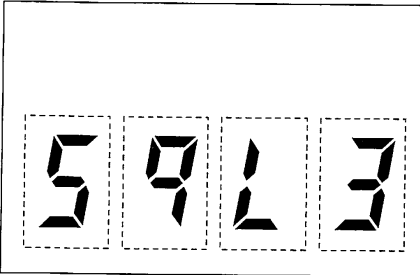
**メモ** 初期状態ではONに設定されています。

- ①Fキーを押し、「F」の点灯中にダイヤルを6回押します。  
→「b」→「E」→「E」→「P」と表示されます。
- ②ダイヤルを回して、ON/OFFを切り替えます。  
→ポインタが点灯すると、ビープ機能がONとなります。
- ③PTTキーを押します。  
→設定が確認します。

## セットモード

## スケルチレベル設定 (SqL)

スケルチレベルを設定します。スケルチとは、受信時に信号がない時の「ザー」という雑音を消す機能です。



- 初期状態ではスケルチレベルが3に設定されています。
- 設定値を大きくするほど強い信号でスケルチが開くようになります。
- 0に設定すると受信信号がなくてもスケルチは開いたままになります。

- Fキーを押し、「F」の点灯中にダイヤルを7回押しします。  
→「S」→「q」→「L」→「3」と表示されます。
- ダイヤルを回して、レベルを調整します。  
→レベルは、0～5の間で調整できます。
- PTTキーを押しします。  
→スケルチレベルが確定します。

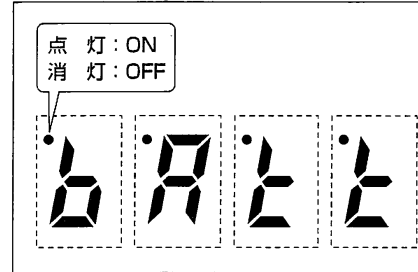
セットモード

43

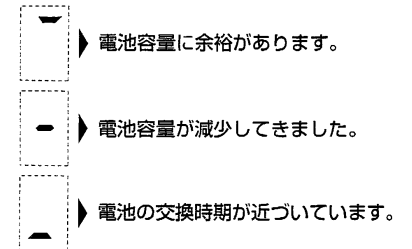
## セットモード

## バッテリー表示 (bAtt)

電池容量表示と電源切り忘れアラームのON/OFFが設定できます。



- 電池容量表示  
電池使用時、10秒に1度、電池の残容量を表示します。



▶ 電池容量に余裕があります。

▶ 電池容量が減少してきました。

▶ 電池の交換時期が近づいています。

- Fキーを押し、「F」の点灯中にダイヤルを8回押しします。  
→「b」→「A」→「t」→「t」と表示されます。
- ダイヤルを回して、ON/OFFを切り替えます。  
→ポイントが点灯すると、バッテリー表示機能がONとなります。
- PTTキーを押しします。  
→通常の状態に戻ります。

- 初期状態ではONに設定されています。

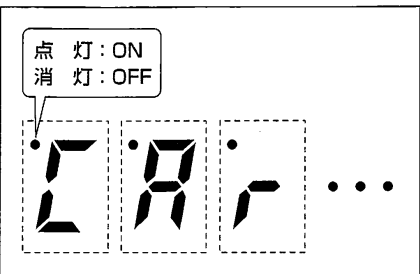
- 電源切り忘れアラーム  
電源切り忘れ防止のため、無操作状態が30分以上続いた場合、「プププ」というアラーム音が鳴ります。以後10分おきにアラーム音が鳴り、電源がONのままであることを知らせます。

44

## セットモード

## ケア送信延長機能 (CArE LonG)

ケアモニターモード子機の送信時間を延長できます。



ケアモニターモード  
初期状態 : 25秒送信/5秒受信  
本機能ON : 50秒送信/5秒受信

- 初期状態はOFF (25秒送信) に設定されています。
- 本機能をONにすると、緊急通報機能の送信時間が20秒になります。(P34)

注意 ケアモニターモード以外では使用できません。

- Fキーを押し、「F」の点灯中にダイヤルを9回押しします。  
→「C」→「A」→「r」→「E」→「L」→「o」→「n」→「G」と表示されます。
- ダイヤルを回して、ON/OFFを切り替えます。  
→ポイントが点灯すると、ケア送信延長機能がON (50秒送信) となります。
- PTTキーを押しします。  
→通常の状態に戻ります。

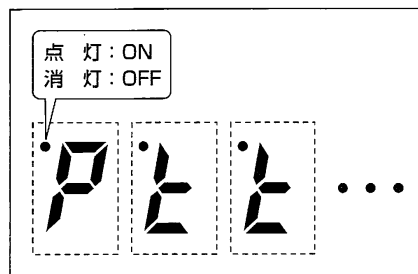
セットモード

45

## セットモード

## PTTオフ機能 (PttoFF)

本機を受信専用で使用する場合などに、本機からは送信できないようにする機能です。PTTキーを押しても送信できません。



- 初期状態はOFFに設定されています。

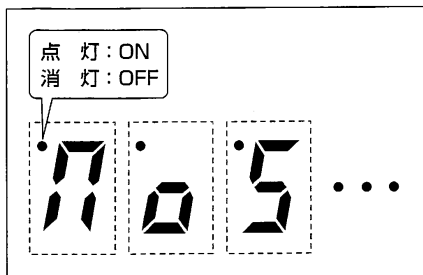
- Fキーを押し、「F」の点灯中にダイヤルを10回押しします。  
→「P」→「t」→「t」→「o」→「F」と表示されます。
- ダイヤルを回して、ON/OFFを切り替えます。  
→ポイントが点灯すると、PTTオフ機能がONとなります。
- PTTキーを押しします。  
→通常の状態に戻ります。

46

## セットモード

## 蚊除け機能 (MoSqUito)

本機のスピーカから蚊の嫌がる超音波を発生させる機能です。



**メモ** 初期状態はOFFに設定されています。

**注意** 世界には、およそ数千種類の蚊が生息しており、蚊除け機能が効かない種類の蚊もいます。蚊除け機能をONに設定すると、常時超音波を発生するため、バッテリーセーブ機能は動かなくなり、電池の消耗が早くなります。

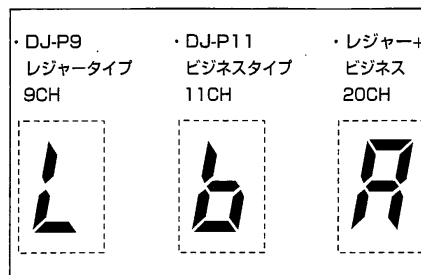
- Fキーを押し、「F」の点灯中にダイヤルを11回押しします。  
→「M」→「n」→「o」→「P」→「q」→「r」→「S」→「t」→「U」→「u」と表示されます。
- ダイヤルを回して、ON/OFFを切り替えます。  
→ポインタが点灯すると、蚊除け機能がONとなります。
- PTTキーを押します。  
→通常の状態に戻ります。

メモ

## セットモード

## チャンネルタイプ選択機能

本機で使用するチャンネルを、レジャータイプ9CH、ビジネスタイプ11CH、レジャー+ビジネス20CHから選択できる機能です。



**メモ** 初期状態では、DJ-P9の場合、レジャータイプ9CH、DJ-P11の場合ビジネスタイプ11CHに設定されています。

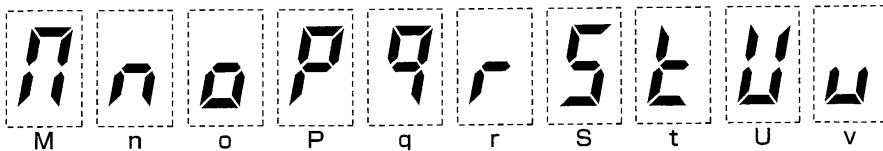
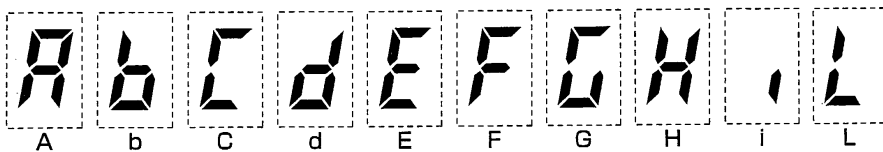
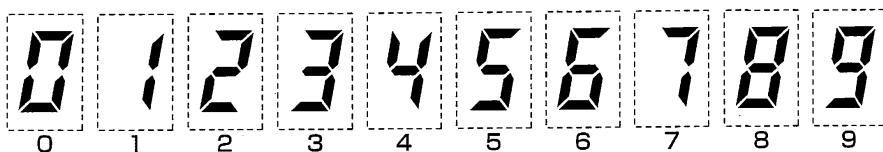
- Fキーを押し、「F」の点灯中にダイヤルを12回押しします。  
→DJ-P9では「L」が、DJ-P11では「b」が点灯します。
- ダイヤルを回して、チャンネルタイプを選択します。  
→チャンネルタイプは、「L」「b」「A」のいずれかを選択できます。  
「L」：レジャータイプ9CH  
「b」：ビジネスタイプ11CH  
「A」：レジャー+ビジネス20CH

- PTTキーを押します。  
→チャンネルタイプが確定します。

**メモ** チャンネル番号表示 (P16)

## 付録

## ディスプレイ表示



付録

## 付録

## 各チャンネルの送受信周波数

	従来機でのチャンネル番号	本機でのチャンネル表示	送受信周波数 (MHz)
レジャータイプ 9チャンネル	1	1	422.2000
	2	2	422.2125
	3	3	422.2250
	4	4	422.2375
	5	5	422.2500
	6	6	422.2625
	7	7	422.2750
	8	8	422.2875
	9	9	422.3000
ビジネスタイプ 11チャンネル	1	ポインタ+1	422.0500
	2	ポインタ+2	422.0625
	3	ポインタ+3	422.0750
	4	ポインタ+4	422.0875
	5	ポインタ+5	422.1000
	6	ポインタ+6	422.1125
	7	ポインタ+7	422.1250
	8	ポインタ+8	422.1375
	9	ポインタ+9	422.1500
	10	ポインタ+0	422.1625
	11	ポインタ+11	422.1750

	ディスプレイ表示	操作方法
トーン出力機能	-1~9	Fキー → ダイヤル1回押し
コードスケルチ機能	-A~F	Fキー → ダイヤル2回押し
充電機能	CHG	Fキー → ダイヤル3回押し
バッテリーセーブ機能	bS	Fキー → ダイヤル4回押し
エンドビー機能	EndP	Fキー → ダイヤル5回押し
ピープ機能	bEEP	Fキー → ダイヤル6回押し
スケルチレベル設定	SqL	Fキー → ダイヤル7回押し
バッテリー表示	bAtt	Fキー → ダイヤル8回押し
ケア送信延長機能	CArE LonG	Fキー → ダイヤル9回押し
PTTオフ機能	PttOFF	Fキー → ダイヤル10回押し
蚊除け機能	MoSqUito	Fキー → ダイヤル11回押し
チャンネルタイプ選択機能	L → b → A	Fキー → ダイヤル12回押し

## トーン周波数

トーン番号	出力トーン周波数 (Hz)
1	67.0
2	71.9
3	74.4
4	77.0
5	79.7
6	82.5
7	85.4
8	88.5
9	91.5

## オプション一覧

本製品のオプション一覧です。

EDH-18	シガーDC/DCコンバーター (DC12V系)
EMS-9	スピーカマイク
EME-6	ブチ型イヤホン
EME-12A	VOX付きヘッドセット (ヘッドホンタイプ)
EME-13A	VOX付きヘッドセット (インナータイプ)
EME-15A	VOX付きタイピンマイク
EME-19A	ヘルメット用ヘッドセット
EME-20	イヤホンマイク
EME-21A	タイピンマイク

本製品が故障かな?と思ったら、まずこちらをお読みください。

症状	原因	処置
電源が入らない。	電池の入れ方が間違っている。	電池を正しく入れ直してください。
	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。 充電電池を充電してください。
音が出ない。 受信できない。	音量が低すぎる。	適切な音量に設定してください。
	相手とチャンネルが違う。	同じチャンネルに合わせてください。
	相手と距離が離れすぎている。	交信距離を目安に交信してください。
	コードスケルチが働いている。	コードスケルチを解除してください。 同じコード番号に合わせてください。
「ザー」という雑音が出る。	スケルチレベルが低すぎる。	適切なスケルチレベルに設定してください。
	信号を受信している。	信号がなくなってから送信するか、チャンネルを変更してください。
	通信モードを間違っている。	電源を入れ直して、通信モードを確認してください。
送信できない。	交信制限時間を超過している。	PTTキーを離し2秒たってから、再度送信してください。
	PTTオフ機能が働いている。	セットモードでPTTオフ機能をOFFに設定してください。
	キーを操作できない。 チャンネルが変わらない。	キーロックされている。

- 処置を施しても異常が続くときは、リセット (初期化) してください (P35)。症状が回復する場合があります。
- 電池が消耗していると、まれに誤動作することがあります。新しい電池に交換すると正常な状態に戻る場合があります。

送受信周波数	レジャーチャンネル	422.2000~422.3000MHz (12.5KHzステップ)
	ビジネスチャンネル	422.0500~422.1750MHz (12.5KHzステップ)
電波形式	F3E (FM)	
送信出力	10mW	
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン	
受信感度	-14dBu以下 (12dB SINAD)	
音声出力	80mW以上	
消費電流	送信時	約50mA
	受信定格出力時 (50mW)	約80mA
	受信待ち受け時	約40mA
通信方式	単信方式、半複信方式	
定格電圧	DC2.4V~3.0V	
外部電源	EIAJ規格 区分2 DC4.5V~6.0V	
動作温度範囲	-10°C~+50°C	
中間周波数	1st IF	21.7MHz
	2nd IF	450KHz
寸法	58 (W) × 100 (H) × 19 (D) mm (突起物除く)	
重量	150g (乾電池含む)	

 **アルインコ株式会社 電子事業部**

東京営業所 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号日本橋プラザビル14階 ☎ 03-3278-5888  
大阪営業所 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1丁目2番6号新ダイヤビル9階 ☎ 06-4797-2135  
福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1丁目3番6号第3博多備成ビル7階 ☎ 092-473-8034

お買い上げの販売店または、フリーダイヤル ☎ 0120-464-007

全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります。受付時間/10:00~17:00月曜~金曜(祝祭日は除きます)

PSO442